

# ほとけの混和会だより

十二月八日は釈尊お悟りの日



苦行林から離山する釈尊

人は若い、病を得てやがて死を迎える。この免れる事の出来ない朝露のような私達の命、この儚い一生をどのように生きてきたらいいのか、私達は何の為に生きて居るのか、真の幸とは何なのか、と釈迦国の王子は王位継承の地位に有りながらも、その地位を捨てて、真理を求めて出家されました。そして六年間の苦行の日々を過ごされるのですが、苦行だけでは、真理は得られないと知り、修行の山を降りられます。衰弱しきった釈尊は、村娘スジャータから乳粥の接待を受けて体力を快復し、ガヤーの森に行き静かに七日間、冥想されて十二月八日、中道の真理を悟り、「ブッダ」となられました。そのお悟りの行事を「成道会」(ジヨウドウエ)と言います。

平成二十五年十二月

東光院

仏の混和会

お陰様で第100号

## 「釈尊の悟られた教え」

迷いと、苦しみの日々を歩む私達に生きる方向性を見いだされた釈尊の悟りとは何なのでしょう。か、その御教えを箇条書きにして、ほんの少し記させて頂きます。一つには、物事には全て原因があって、出会いである「縁」によって結果が生じると説いておられます。「善因善果、悪因悪果」二つには、世は無常で有り永遠に存在するものは何一つとして無い、移りゆくものに執着する事は無意味なことであると説いて下さっています。三つには、己という自我にとらわれてはいけません。自我に執着することによって迷いと苦しみの日々を歩む事と成ります。と説かれました。「諸法無我」四つには、移りゆくものへの執着を離れ、自我にとらわれることが無くなれば御仏の優しさである慈愛心に目覚め、大いなる安心と真の幸を得る事が出来ます。と説いておられます。「涅槃寂靜」

## 「成道会」を行いました。

十二月八日(日曜)

釈尊のお悟りを開かれた、この尊い日に、私達も少しでも釈尊の御心に近づけるよう、ささやかに、成道会を執り行いました。釈尊は、己の我を振りかざすのでは無く、己を忘れて他の幸を願う、この尊い御心に寄って真の幸が得られると説いて下さっています。共に他の幸を願い、他の幸を喜びとする環境を築く事が出来ればとても素晴らしい社会に成るものと思われれます。そこで、第一回目の成道会は、先ず共に理解し合う事から進めて行こうと思いい、今回は少人数の人に声をかけさせて頂きました。参加者は、本堂で懺悔と感謝のお勤めをした後、薬師堂でそれぞれの思いなどを語り合うことが出来ました。共に、飾らない、ありのままの自分を語り、己を理解してくれ、自分が身近に居てくれる。とても嬉しい思いでした。この、共に他の幸を願い、他の幸を喜びとするこの集の輪が少しずつ広がってまいります。今後、ますます進んでまいります。



## 十二月二日 托鉢を行いました。



### 慈愛の心で助け合い

天台宗では毎年十二月初旬に「慈愛の心で助け合い」とスローガンを掲げて、全国一斉に托鉢を実施しております。今年も印西市内の小倉地区を托鉢させて頂きました。この托鉢は、釈尊の時代、以前から行われている、僧侶の大事な修行であります。施しを受ける人も施す人も、共に他の幸を願うほとけ心、慈愛心を養う大事な修行であります。

## ほとけの菜園



11月26日 大豆の脱穀を致しました。今年の大豆は小糸在来と言う品種です。味噌に加工してご接待させて頂きます。



9月30日 白菜の移植を致しました。12月23日の大掃除の日に漬物として、ご接待させて頂きます。



11月21日 お蕎麦の脱穀作業です。今年不作でしたが、2月3日の節分に、ご接待させて頂きます。



一般の信者さんは出家人の清らかな姿や仏心を感じ、その行いを見て、己の過ちに気づくことができたのじゃよ、よって人々を救うことができたのじゃよ。小乗仏教とは大乘仏教側から見た批判的な言葉として、現在は上座部仏教とか南伝仏教などと言われているよ。一般の人々が、家族を捨てて出家の道を選ぶことには、とても出来ないことじゃよ。そこで大乘仏教では、出家の道にとらわれず、又己一人だけ悟りを得て幸せに成ろうなどとも思わず、出家者も一般信者さんも、共に悟りを得て幸せの境地に到りましょうと、釈尊の教えが深く解釈されるようになったのじゃよ。日本には、大乘仏教の教えが伝わり、最澄さんは大乘仏教の戒律を定め、親鸞さんは、「非僧非俗」と言い、僧侶のように清らかなには生きられないが俗人のように汚らわしい生き方はしないと「中道」の道を歩まれたのじゃよ。大乘仏教の基本的な教えは、己の悟りよりも、他の人の悟りの為に、又他の人々の幸を願い、他の人々の幸を喜びとして日々を過ごすのじゃよ。これは、なかなか出来る事ではないのじゃが、この御心が抱けるよう日々勤めていければ、その御心は次第に人々の心に染み渡り、真の幸が得られるのじゃよ。

## 境内清掃奉仕のお願い

暮れの境内の清掃を執り行いたいと思います。もし、都合が付きましたならご奉仕お願いします。

日時 12月23日(月曜日) 午前9時～12時の間にて 都合の良い時間で、お願いします。

〒270-1345 千葉県印西市船尾 622-1 東光院 電話0476-46-2471



ねーねー お坊さん！ お釈迦様の教えには、大乘仏教と小乗仏教とが有りますよね、小乗仏教より大乘仏教の方が優れた教えなの？ どのように違うの？



そうじゃな！ これはね、大乘仏教が優れていて小乗仏教が劣っていると言っていることじゃないのじゃよ。お釈迦様の教えの受け止め方の違いなんじゃよ。お釈迦様があられた当初は、迷い苦しみを克服し真の幸を得るには、俗世、いわゆる家族や財産一切の持ち物を捨てて、出家し僧侶の道に入り厳しい修行に耐えて初めて会得出来るよ、そして自分だけの悟りを求め、自分だけの幸せを求めて居たのじゃよ。だから自分一人の乗り物として小乗仏教というのじゃよ。そのように言うのと、小乗仏教は劣っているようにも聞こえるが、実はそうじゃないんじや、小乗仏教の人は、妻帯もしないし厳しい戒律も厳格に守り、本当の清らかな御心を持っておられるのじゃよ。